

経皮的カテーテル心筋焼灼術(RFCA)を受けられる方へ

月日(日時)	/		/	
経過(病日等)	入院時(治療前)	治療当日(治療前)	治療当日(治療後)	治療後1-2日目
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 入院の目的・内容を理解し、安心して入院に臨めるよう準備しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療の目的・内容を理解し、安心して治療に臨めるよう準備しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療に必要な指示を守りましょう。 胸部症状やその他お身体に異変が出現した場合は伝えましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療に必要な指示を守りましょう。 胸部症状やその他お身体に異変が出現した場合は伝えましょう。 退院後の生活について理解しましょう。
点滴		<ul style="list-style-type: none"> 治療前から点滴が始まります。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療後もしばらく点滴をします。 	
薬	<ul style="list-style-type: none"> 現在内服しているお薬を確認します。 	<ul style="list-style-type: none"> 当日の内服薬については、医師又は看護師から説明いたします。指示がない場合は普段通りお飲みください。 抗凝固薬については、基本的に中止となります。 医師の指示のもと、気持ちを落ち着かせるお薬を内服します。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療結果によって薬が変更になることがあります。 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> 身長と体重を測ります。 必要に応じて、他検査が入ることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 順番が近づきましたら、看護師から説明の上、手術衣に着替えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 帰室時に12誘導心電図の検査を行います。 退院まで、継続的な心電図モニターを装着します。 帰室後1～2時間おきに看護師が血圧測定などを行い、状態を観察します。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、12誘導心電図検査と採血を行います。
処置	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示に従い、鼠径周囲の除毛を確認します。 足の甲の脈が触れるところに印をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 針を刺す部位(右頸部及び右鼠径部)に痛み止めのテープを貼ります。 ストレッチャー(移動用のベッド)で治療室に行きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 針を刺した部位に管が入ったまま帰室された方は、時間がきましたら医師が管を抜きます。 針を刺した部位に関して、右頸部は帰室時より少し曲げることができます。完全に曲げられるようになるのは2時間後となります。右鼠径部は管を抜いた後に止血のため砂嚢をあてます。約3時間後に砂嚢をはずし、約6時間後に医師の診察にて問題なければ安静解除となります。 安静解除の時間が夜になってしまう場合は翌朝までベッド上安静となります。 酸素吸入を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 前日に安静解除を行わなかった方は、朝に医師が診察し安静解除となります。 
活動安静度	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 制限のある場合には医師又は看護師からお伝えします。 	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 制限のある場合には医師又は看護師からお伝えします。 	<ul style="list-style-type: none"> 針を差した右鼠径部は安静解除まで曲げないでください。 管を抜いてから6時間後までは基本的にベッド上安静です。ご自身で動くことはできません。出血のおそれがありますので寝返りや膝を立てたり起き上がりたりしないでください。 	<ul style="list-style-type: none"> 安静解除後は制限はありません。 制限のある場合には医師又は看護師からお伝えします。
食事	<ul style="list-style-type: none"> 食事療法をされている方、アレルギーがある方はお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療前まで、水もしくはお茶のみ摂取可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔から覚め、針を刺した部位の管が抜けたら、飲水・食事は可能です。 治療終了後に軽食を提供いたします。 ベッド上安静の方は、寝たまま摂取します。 寝たままでも召し上がりやすい形態の食事を提供いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示による食事を提供いたします。
清潔		<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴はできません。 	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴はできません。 	<ul style="list-style-type: none"> 身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。 治療翌日は身体を拭くだけにとどめ、退院翌日からシャワー浴及び入浴可能となります。  
排泄		<ul style="list-style-type: none"> 治療前にトイレをすませてください。 治療前に病棟で尿の管を入れます。 	<ul style="list-style-type: none"> 安静解除となるまでは、尿の管からの排尿量を確認します 安静解除時に尿の管を抜きます。 症状安静中の排便はベッド上となります。 	
患者様への説明生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 看護師より入院中の一連の流れについて説明いたします。 入院中に動悸が出現した場合はすぐに医師又は看護師にお知らせください。 治療中の顔色や爪色の観察のため、化粧品やマニキュアは落としてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療に関する同意書の確認をします。 看護師より治療の一連の流れについて説明いたします。 治療室へ出発するときは、時計、めがね、義歯、湿布、指輪、ヘアピンなど、身体に装着しているものを外します。 	<ul style="list-style-type: none"> 主治医より今回の治療結果や退院後のことについて説明があります。 穿刺部の腫れや痛みがある場合や気分不快がありましたら遠慮なく医師又は看護師に声をかけてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 治療後の経過に問題なければ、2日後に退院となります。 退院の流れについては、別途説明します。 

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。
 ※入院期間については現時点で予測される期間です。